

OECD－PEB 教育施設の質の評価のためのフォーマット

政策課題	原則	要素	評価時点				
			供用前			供用後	
			設計前	設計段階	建設段階	新しい建物	古い建物
教育効果	使用目的への 適応性－ 客観的指標	十分にフレキシブルか？					
		多目的利用可能か？					
		軽度又は中度の当別支援が必要な 児童生徒の受入れは可能か？					
		児童生徒の年齢に適しているか？					
		効果的かつ総合的に計画され、かつ 管理されているか？					
	使用目的への 適応性－ 主観的指標	利用者のニーズを満足しているか？					
		地域に開放されているか？					
		地域を、施設の設計、計画、日常施 設管理、修繕及び施設利用に参加 させているか？					
	感動的・象徴 的な施設 か？	建築的に革新的か？					
		教育的に革新的か？					
		技術的に革新的か？					
		社会・文化的に革新的か？					
	環境の持続 可能性への 配慮	敷地選定又は配置計画で環境に配 慮できたか？					
		水、エネルギー、リサイクル、ごみ処 理及び自然光を、効果的かつ効率 的に利用するか？					
		持続可能な工法や建材を利用する か？					
	健康と快適 性	衛生的か？					
		人間工学的に快適か？					
		温熱的に快適か？					
		視覚的に快適か？					
		音響的に快適か？					
	安全と安心	安心は確保されているか？					
		自然災害対策は取れたか？					
費用対効果	初期施設投資の長期的 費用対効果	建設コストは？					
		メンテナンスと修繕は？					
		運営費と人件費は？					

出典： OECD資料「Working Group on Evaluating Quality in Educational Facilities」(EDU/PEB(2006)14), 04 May 2006

※OECD(経済協力開発機構)に設置されたPEB(Programme on Educational Building:教育施設に関する委員会)において検討された教育施設の質の評価のためのフォーマット